

書かない窓口の導入を!

書かない窓口とは、住民が申請書に記入することなく住民票などの交付が1カ所で受けられるワンストップ窓口のことで、住民と行政の双方がデジタル化のメリットを実感できる取り組みです。導入についての考えを伺います。

答弁：デジタル庁が本年夏頃に自治体が利用可能なサービスの提示を予定していますが、まだ詳細は示されていないため先進事例を情報収集し検討していく。市民の利便性向上や職員の事務の効率化に資すると考え、国の動向を注視しつつ検討していく。

若者の声を政策に反映を!

すべての子どもの権利を保障する「こども基本法」が昨年6月に成立し、今年4月には子ども政策の司令塔となる「こども家庭庁」が発足します。今後、子どもや若者の声を聴いて市政に反映するという取り組みとして、どのようなことが考えられるか伺います。

答弁：市で実施する各種施策の推進に当たり、子どもや若者の意見を聞いていくことについて庁内に周知する。また計画や施策への反映に努めていく。



リサイクルプラザの活性化を!

リサイクルプラザは、2000年7月に開所され、ごみの減量化や再資源化を推進するための情報拠点として今に至っています。施設の有効活用がされていないのではとの声があります、多くの団体に活用いただき工夫し活性化が必要だと思えます。

答弁：環境や資源循環に関する市民活動団体のみなさまに広く活用していただくため、施設の設置目的など積極的に広報していきます。また図書コーナーの刷新やキッズスペースの再開など検討しているところです。

カーシェアリングの導入を!

公用車にEV車を導入することについて。EV公用車を庁舎休日夜間などにカーシェアリング事業の検討をしてはどうか

答弁：令和5年度2台購入予定であり、今後も検討している。カーシェアリング事業については動向を注視していきます。

その他の質問

- ・リサイクルプラザの運用／環境問題とSDGsへの関連
- ・行政の効率化と市民サービスの向上／行かない窓口への移行
避難行動要支援者台帳と高齢者安心見守りカードの一元化を

